

9月28日(土) ↓ 11月4日(月・休)

■開館時間 / 午前10時～午後5時(入館は午後4時半まで)  
■休館日 / 月曜日(但し、10月14日(月)は開館翌15日(火)は休館)

■観覧料 一般 1,200円  
高・大生 700円  
小・中生 500円

※20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引  
※毎週土曜日、小・中・高生入館無料

●記念講演会 / 「歌仙とよばれた人々」 歌人 馬場あき子氏  
10月19日(土) 午後1時30分～3時  
徳川美術館講堂 ※入館者聴講自由

秋季特別展

# 歌仙

— 王朝歌人への憧れ —

The Sages of Poetry : Admiring the Court Poets of the Ancient Period



徳川美術館

TEL(052)935-6262

蓬左文庫

TEL(052)935-2173

〒461-0023 名古屋市東区徳川町

秋季特別展

# 歌仙

## — 王朝歌人への憧れ —

The Sages of Poetry : Admiring the Court Poets of the Ancient Period

古来すぐれた歌人は、柿本人麿と紀貫之をはじめ「歌仙」とよばれ、藤原公任の『三十六人撰』に由来する「三十六歌仙」などに代表されます。鎌倉時代からの似絵の流行のなかで、歌仙は「歌仙絵」として和歌・略伝とともに絵姿であらわされてきました。中世以来描き継がれてきた歌仙絵は、後世の人々の王朝歌人への憧憬の象徴と言えます。

本展覧会では、鎌倉・室町時代以来の歌仙絵と、これらをもとに17世紀の古典復興の気運の中で製作された歌仙絵の名品の数々を展観し、その図様の継承と展開、歌仙への憧憬の歴史をたどります。



重文 佐竹本三十六歌仙絵 藤原敦忠 個人蔵 A



上置本三十六歌仙絵 藤原仲文 個人蔵 (9/28~10/20)



重文 後鳥羽院本三十六歌仙絵 小大君 専修寺蔵 B



三十六歌仙画帖 紀貫之  
伝土佐行秀・狩野元信筆  
北野天満宮蔵



重文 三十六歌仙額 在原業平  
若佐又兵衛筆 仙波東照宮蔵



業兼本三十六歌仙絵 藤原興風 個人蔵 A



時代不同歌合絵 小野小町・藤原家隆 個人蔵 B



三十六歌仙畫帖 藤原敦忠  
松花堂昭乗筆 泉屋博古館蔵



女房三十六歌仙画帖 小野小町  
土佐光起筆 三井記念美術館蔵



十二類歌合絵 関戸時経  
狩野氏信筆 個人蔵



三十六歌仙絵屏風 右隻 伝 狩野孝信筆 個人蔵

### ■展示予定作品

重文 佐竹本三十六歌仙絵	藤原敏行	個人蔵	B	三十六歌仙額	妙法院蔵
重文 佐竹本三十六歌仙絵	源宗子	個人蔵	B	三十六歌仙画冊	岩佐又兵衛筆 福岡市美術館蔵
重文 佐竹本三十六歌仙絵	小大君	大和文華館蔵	A	三十六人歌合画帖	住吉具慶筆 京都国立博物館蔵
重文 佐竹本三十六歌仙絵	源順	出光美術館蔵 10/22~11/4	A	時代不同歌合画帖	鳥丸光広賛・俵屋宗達筆 個人蔵 A
重文 佐竹本三十六歌仙絵	源順	サントリー美術館蔵	A	時代不同歌合	住吉具慶・狩野秀信筆 静嘉堂文庫美術館蔵
重文 佐竹本三十六歌仙絵	藤原元真	文化庁蔵	B	新三十六歌仙画帖	狩野探幽筆 東京国立博物館蔵
重文 佐竹本三十六歌仙絵	藤原仲文	北村美術館蔵	A	女房三十六人歌合画帖	清原雪信筆 MIHO MUSEUM蔵
重文 佐竹本三十六歌仙絵	紀貫之	五島美術館蔵	A	休息三十六歌仙絵巻	野々口立圃筆 個人蔵
重文 上置本三十六歌仙絵	藤原兼輔	泉屋博古館蔵	B		
重文 業兼本三十六歌仙絵	源重之	個人蔵	A		
重文 業兼本三十六歌仙絵	源宗子	個人蔵	A		
重文 後鳥羽院本三十六歌仙絵	斎宮女御	MOA美術館蔵	A		

●記念講座/「歌人になろう—短歌作り入門—」 講師：中部日本歌人会委員長 小塩卓哉氏 会場：講堂、一般対象  
10月14日(月・祝) 午後1時30分~3時30分 往復はがきに住所・氏名・電話番号を記入の上、当館短歌係まで。先着順(定員50名)。



### ◎次回予告

企画展示  
**夢幻能**—うつつと異界の境—  
11月9日(土)~12月13日(金)



### ◎蓬左文庫 次回予告

**源氏物語の世界**  
11月9日(土)~12月13日(金)



「歌仙」展  
入館割引券  
1枚で2名様まで団体料金で  
入館できます。  
他の割引との併用は  
できません。